
三脚少年

閉まれドア

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

三脚少年

【Nコード】

N4478C

【作者名】

閉まれドア

【あらすじ】

中学3年の春・・・俺は三脚少年と出会った。

第一話（前書き）

この小説はフィクションです。

第一話

俺が三脚少年と出会ったのは、中学3年の春だった。

その日は新学期、始業式を終えた俺は新しい教室、3年2組へと向かった。

友人達と楽しく談話して暇を潰していると、やがて先生が来た。

教室の雰囲気は変わり、皆急いでそれぞれの席へと戻る。

そこまでは誰でも想像できる光景であろう。

でも・・・これ以降は、少なくとも俺、宮良幸司には深く印象に残る中学校生活最後の思い出の・・・始まりであった。

「まず最初に、転入生を紹介したいと思う。」

そう先生は言っ、ドアを開ける。

ドアから現れたのは一人の少年であった。

「今日から転入してきた平賀駿君だ。」
ヒラガシユン

ごく普通の身長けど少し痩せ細っている印象を俺は持った。

学ランの袖から出ている手は細く、白かった。

休み時間になると一斉に平賀に人が群がる。

転入生というのは初日は忙しいものだ。

皆転入生を珍しがるのだから。

何故だか知らないが好意が自然と湧くのだ。

俺はその様を見ながらふと考え込んだ。

中学三年生になって転校してくる気持ちってどんなものなのだろうか。

中学は義務教育の最終年でもある。

高校受験で小学校時代からの多くの仲間とは離れ離れになるであろう。

だから中学は最後までそっから動きたくない。

転校なんてしたくない。

そう思うのが普通であろう。

しかし平賀は中学3年生になって転入してきた。

今まで育んできた仲間との友情が、途切れたのである。

最終学年を目の前にして……。

修学旅行を目の前にして……。

3年生のビッグイベントと言ったら修学旅行。

3年間、長ければ9年間同じ校舎で学んできた仲間との行事。

平賀はそんな修学旅行を、知り合って1ヶ月弱の人達と過ごさなければならぬのだ。

考えると虚しくなる。

彼は一体、どういう気持ちであの席に座って皆と話しているのだろうか……。

その日は特に用事も無く、俺は学校が終わるとすぐに帰路へとついた。

俺の中学、伊間原中学校は海沿いにある。

時々海岸を歩きながら帰ったりもしている。

絶好の晴れ模様。

太陽の光を受けエメラルドグリーンの海は輝いていた。

この石垣島などの沖縄の海は日本で1番美しいらしい。

日本本土の海とは比べ物にならないと世間は言う。

かつて友人が横浜に行って横浜港を見たという。

その海はやっぱり世間が言うように汚く、ゴミがそこら中に浮いていたという。

俺にはそんな海の光景が浮かび上がらなかった。

俺は沖縄以外の海を見た事が無い。

行った事があるのは沖縄本島や大阪ぐらいで本島の海は見えていない。

エメラルドグリーンのこの海しか知らないんだ。

少し歩いていると、その先で誰かが海を撮っているのが見えた。

カメラ用のスタンドらしきものを立て、姿勢を屈めてカメラを操作していた。

学ランなので、ウチの中学の人なのであろうと俺は思った。

しかし・・・始業式にわざわざスタンドなんか持ってきてきて今日海を撮るヤツなんているのか？

そんな疑問と共に、一步一步、その少年へと近づいてゆく。

顔がはっきりとしてくる。

そして誰だか分かった。

平賀駿だ。

白い顔で一目で分かった。

この島で暮らしてる人は大抵日焼けしているのだ。

しかし・・・何故写真を撮っているのだろうか。

そう新たに疑問が湧くも、流石に質問する勇氣は無かった。

真剣そうな顔でデジカメで写真を撮る平賀の表情をチラッと見た後、俺はその場から足早と立ち去った。

続く

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4478c/>

三脚少年

2011年1月27日12時43分発行